

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 第二言語習得研究に基づき、小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方を理解する。個に応じた指導や異文化理解に関する指導について、さらなる知識と技能を身に付ける。また、英語教育に関して自ら研究を進められる能力を養う。</p> <p>[授業概要] 第二言語習得研究に基づいた小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方について学習する。また、異文化理解に関する内容を授業に取り入れる方法や生徒の特性や習熟度に基づく指導方法についても理解を深める。さらに、学校文法だけでなく科学文法についても学習し、文法指導について理解するとともに、英語教育について自ら研究できる能力の基礎を築く。模擬授業では、5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現、文法の指導や異文化理解に関する指導も含む)を取り入れ、さらに具体的な生徒像も想定した上で授業計画を立てることで、英語の指導法について総括する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 第二言語習得と英語教育、SLA研究と小学校英語教育 2. 中学校英語教育・高校英語教育の今後、自律した学習者を育てる方法(大学生、社会人の英語教育)、異文化理解に関する授業映像の視聴 3. 生徒の特性や習熟度に基づく指導方法とワークショップ(担当教員による実演) 4. 学校文法と生成文法、文法の指導方法、外国語教育学の研究手法 5. 小テスト、模擬授業(1)の準備 6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ) 8. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ) 9. 模擬授業(1)の反省と模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ</p>			

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:(開隆堂出版)(4304051695)  高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:(開隆堂出版)(4304051784)  英語教師のための第二言語習得論入門 著者名:白井恭弘 出版社:大修館書店(978-4-469-24570-7)</p>			

S31070 [ LEH3-011 ]